

JIS

加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—接着性の求め方— 第2部：剛板との90°剥離強さ

JIS K 6256-2 : 2013

(JRMA/JSA)

平成 25 年 9 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 化学製品技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	土 肥 義 治	独立行政法人理化学研究所
(委員)	穴 澤 秀 治	一般財団法人バイオインダストリー協会
	今 井 勇	日本ゴム工業会
	植 田 新 二	一般財団法人化学物質評価研究機構
	大 石 奈津子	財団法人日本消費者協会
	岡 崎 雅 之	公益社団法人自動車技術会 (株式会社本田技術研究所)
	香 山 茂	一般財団法人化学研究評価機構
	佐 藤 浩 昭	独立行政法人産業技術総合研究所
	高 橋 俊 哉	一般社団法人日本塗料工業会
	田 和 健 次	石油連盟
	廣 岡 隆	独立行政法人住宅金融支援機構
	松 永 孝 治	日本プラスチック工業連盟
	松 永 直 樹	拓殖大学
	松 本 芳 彦	一般社団法人日本化学工業協会
	森 川 淳 子	東京工業大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 18.12.20 改正：平成 25.9.20

官 報 公 示：平成 25.9.20

原 案 作 成 者：日本ゴム工業会

(〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-5-26 東部ビル TEL 03-3408-7101)

一般財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：化学製品技術専門委員会 (委員長 土肥 義治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 原理	2
5 試験装置	2
6 試験装置の校正	3
7 試験片	3
7.1 試験片の形状及び寸法	3
7.2 試験片の作製	4
7.3 試験片の数	5
7.4 状態調節及び試験温度	6
8 操作方法	6
9 試験結果のまとめ方	6
9.1 計算	6
9.2 剝離状態の種類及び表し方	6
10 試験報告書	7
附属書 A (規定) 試験装置の校正	8
附属書 B (参考) 接着部の粘弾性挙動の解析	9
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	10
解 説	12

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本ゴム工業会 (JRMA) 及び一般財団法人日本規格協会 (JSA) から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS K 6256-2:2006** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS K 6256 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS K 6256-1 第 1 部：布との剥離強さ

JIS K 6256-2 第 2 部：剛板との 90° 剥離強さ

JIS K 6256-3 第 3 部：2 枚の金属板間の接着強さ

加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—接着性の求め方—

第2部：剛板との90°剥離強さ

Rubber, vulcanized or thermoplastic—Determination of adhesion strength— Part 2: Adhesion to a rigid substrate—90° peel method

序文

この規格は、2010年に第4版として発行されたISO 813を基に、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA** に示す。

1 適用範囲

この規格は、剛板に加硫ゴム又は熱可塑性ゴムを接着した複合体を90°方向に剥離したときの剥離強さの求め方について規定する。

この規格は、硬さ85 IRHD以上の加硫ゴム又は熱可塑性ゴムには適用しない。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 813:2010, Rubber, vulcanized or thermoplastic—Determination of adhesion to a rigid substrate—90° peel method (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1**に基づき、“修正している”ことを示す。

警告 この規格の利用者は、通常の実験室での作業に精通していることを前提とする。この規格は、その使用に関連して起こる全ての安全上の問題を取り扱おうとするものではない。この規格の利用者は、各自の責任において安全及び健康に対する適切な措置をとらなければならない。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS K 6200 ゴム—用語

JIS K 6250 ゴム—物理試験方法通則

注記 **ISO 23529**, Rubber—General procedures for preparing and conditioning test pieces for physical test methods (MOD)

JIS K 6256-1 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—接着性の求め方—第1部：布との剥離強さ

JIS K 6272 ゴム—引張、曲げ及び圧縮試験機（定速）—仕様